

ふるさとほらど通信

第26号 平成27年10月1日

ほらどまちづくり委員会



洞戸中学校 感動の体育祭

平成27年度をもって関市立洞戸中学校は創立69年の幕を閉じ、28年度からは関市立板取川中学校になります。

9月12日 洞戸中学校としての最後の体育祭が開催されました。



- ▶ 社会福祉協議会洞戸支部
- ▶ ピースベルフェスティバル・ほらどキウイマラソン大会
- ▶ 夏休み児童作品展

- ▶ 関市自治連洞戸支部・NPO法人洞戸村ふるさと塾
- ▶ ほらどまちづくり委員会
- ▶ 関市議会報告

復活！ 一日だけの村民運動会

平成 28 年度、洞戸中学校と板取中学校が統合され関市立板取川中学校となります。洞戸中学校最後の体育祭の午後から自治連洞戸支部主催、洞戸中学校PTAとNPO法人キウイスポーツクラブが後援し復活！一日だけの村民運動会が開催されました。

洞戸村民運動会から 11 年。澄み切った空の下、参加者の皆さんの素敵な笑顔が一杯みられました。



綱引き

デカパンあめ食い競争

市長さん



パン食い競争



選手宣誓



ピンポンリレー



たくさんの皆様にご協力を頂きありがとうございました。

(P 1～3 写真協力 武藤勝巳さん・武藤記子さん)

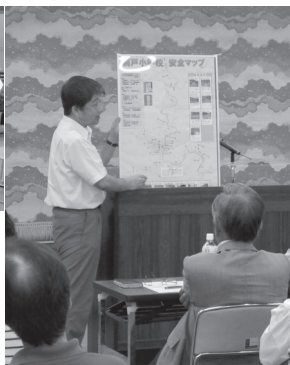
見守りボランティア 研修会開催

7月15日、洞戸老人福祉センターにて見守りボランティア研修会が開催されました。

はじめに、社会福祉協議会 船戸英司洞戸支部長より、日頃の見守りボランティアの活動に感謝と今後活動に激励を頂き、その後洞戸小学校 興戸浩道校長より、日頃の子供見守りに対するお礼と夏休みの子供たちの生活と留意点などについて種々ご説明を頂きました。この後、各地区5地区に分かれ分科会を行い、各地区の問題点等話し合い、最後に見守りボランティア代表 徳野修さんより講評を頂き研修会を終了しました。

見守りボランティア登録者は本年減少傾向にあり随時募集を募っています。

ボランティアの基本理念は「出来る時に・出来る場所で・出来ることを」です。気軽に応募してください。



七夕交流会



7月8日、洞戸老人福祉センターで七夕交流会が開催されました。

一人暮らし（75歳以上）高齢者（80歳以上）の54名の皆さんに集まって頂きました。

最初に、元警察官 梅村新二郎さんの「いきいき人生講演会」で巧みな話芸と歌で楽しんで頂き、昼食の時間は、食改協の皆さん手作りのお弁当で「美味しい」「美味しい」と大好評でした。

午後からは、洞戸保育園児のみなさんに「七夕様」他童謡を歌って子供たちとの交流に花が咲きました。最後に、森雪絵さんによる「健康づくり体操」で日頃の運動不足を解消しました。楽しい一日を過ごされたと思います。また来年もお元気の姿でご参加ください。



平成27年度関市社会福祉協議会 会費納入ありがとうございました

一般会費	615 戸	499,600 円
法人会員・賛助会員	30 社	303,300 円

法人会員

㈱秋田屋本店・洞戸工場	板取川洞戸観光ヤナ	㈱奥長良川名水	美代ちゃん	㈱山佐組
後藤ヒヨコ㈱洞戸育成所	カクダイ岐阜工場	㈱ラステンほらど	松田自動車	㈱鮎川
関市西商工会洞戸支所	㈱後藤モータース	㈱林板金工業	後藤石油店	亀山商店
オートショップ・ムトー	大豊化学工業㈱	㈱林モーター	レストラン幸	後藤建築
ナリス化粧品 武藤販売所	桑原本材工場㈱	のむら接骨院	西尾工務店	林看板店
板取川上流漁業組合	㈱鮎の里ほらど	長屋工業㈱	㈱長屋組	美乃武

（順不同・敬称略）



第6回 平和だからこそ、こんなにも楽しい！
Peace Bell Festival 2015
from Horado
日本の真ん中から平和への想いと喜びをうたおう
プロデュース by ユキヒロ

<出演者>
野村武宏
野村雅子
洞戸保育園
洞戸中学校
倅太朗&柚月
大正琴むぎっ子
Soave 音楽教室
Kyon×2 Momoka
美濃乃國高賀山太鼓
洞戸小学校鼓笛隊・低学年
ユキヒロ

平成27年
10月17日(土)
関市洞戸ふれあいセンター
午後3時～5時 入場無料

主催：ピースベルフェスティバル実行委員会
共催：ほらどまちづくり委員会 / NPO法人洞戸ふるさととこ
協賛：美濃乃國高賀山太鼓
後援：関市 / 関市教育委員会
お問い合わせ先：ピースベルフェスティバル実行委員会
電話 0581-58-2222
http://horado-peasbell.jp/mo.com/

関市洞戸で開催する音楽の祭典も今年で第6回目。『平和な現代を生きていることの幸せ』を感じ、音楽を通してしみながら感謝しようという平和の祭典です。今年には舞踊「フラメンコ」の初披露。洞戸の保育園から小学生・中学生をはじめ、随分音楽を練習し楽しんでいる皆さんの素晴らしい演奏・歌声がこの会場でお聴き頂けます。

広島、沖縄、名古屋、長野に続いて日本でも第6回に「洞戸」で開催され、洞戸に引き継いでいる平和の音楽祭に是非お越し下さい。

ピースベルフェスティバル実行委員会

ピースベルフェスティバル

沖縄のシンガーソングライター“ユキヒロ”がプロデュースする平和の音楽の祭典も今年で第6回を迎えます。

音楽を通して、**楽しみながら平和に感謝しよう**という平和の祭典。

保育園・小学校・中学校～一般の皆さんの演奏・歌声がこの会場でご覧になれます。是非ご来場ください。

◆日 時 **10月17日(土)**
午後3時～5時
◆場 所 **洞戸ふれあいセンター
多目的ホール**

◆出演者
洞戸保育園、洞戸小学校、洞戸中学校、
美濃乃國高賀山太鼓、大正琴むぎっ子、
野村武宏、野村雅子、倅太朗&柚月、
Kyon×2&Momoka、Soave 音楽教室、
ユキヒロ

※入場無料

走る、走る、風をうけて
みどり豊かな洞戸のまちを…

ほらど
キウイマラソン
2015 岐阜県関市
11/29 SUN
雨天決行

3kmコース | 5kmコース | 10kmコース
受付開始 8/4 tue 18:00(申込) 参加費 一般 4,000円 高校生 3,000円 小・中学生 2,000円
募集要項請求先
ほらどキウイマラソンパンフレット発送センター
TEL:03-3714-7924 平日 10:00～17:00 (日/12-8/17を除く)
詳しくはこちらから ランネット http://www.runnet.jp/

主催：ほらどキウイマラソン実行委員会
共催：関市、関市教育委員会、関市体育協会、岐阜新聞、さくらデザイン、主催：NPO法人キウイスポーツクラブ、後援：JCBの農業協同組合、関市自治会連合会洞戸支部

2015ほらどキウイマラソン

◆日 時 **11月29日(日)**
◆場 所 **ほらどキウイプラザ北**
(洞戸診療所建設予定地)
◆照会先 ほらどキウイマラソン大会
実行委員会 (☎0581-58-2111)
◆オープニング AM7:45～
出演/洞戸小学校鼓笛隊
洞戸中学校合唱 他
◆開会式 AM8:30～
◆スタート 3kmの部 … 10:00
5kmの部 … 10:30
10kmの部 … 11:00



洞戸 夏祭り

ほらどまちづくり委員会による恒例の「2015 洞戸夏祭り」が保健センター駐車場において盛況のうちに終わりました。



関市西商工会青年部、栗原青年部、NPO法人キウスポーツクラブ、洞戸特販協会の各団体による出店に沢山の行列が出来ました。



盆踊りでは、お囃子の会による生のお囃子を聞きながら、多くの老若男女が参加して楽しいひと時を過ごしました。



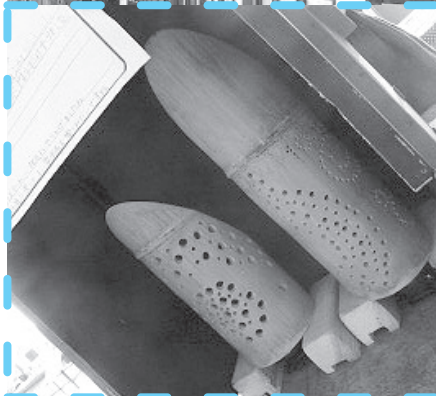
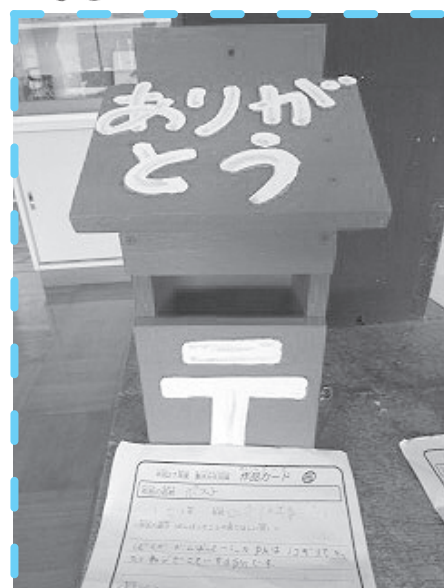
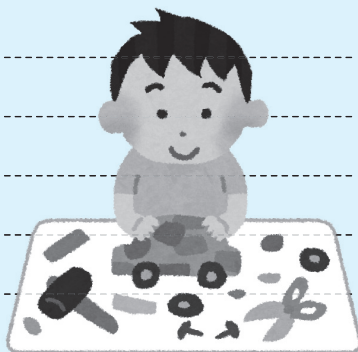
ふれあい体験広場では栗原「きこりの店」の森下昭夫さんの木工工作体験が行われ、子供たちが一生懸命に夏休みの宝物作品を作っていました。





今年も洞戸小学校で夏休み作品展が同校図工室にて開催されましたので、一部紹介します。研究より作品を作る児童の方が多かったようです。

どちらも夏休みの大切な宝物ですね。家族の方も巻き込んで、来年も素敵な宝物作りをしてくださいね。



(写真協力 スミス朋子さん)

世界農業遺産とは、世界重要農業遺産システムともいい、FAO（国際連合食糧農業機関）が二〇〇二年に創設した登録制度で、次世代に受け継がれるべき重要な伝統的農林水産業や生産多様性の維持、伝統知識、農村文化、農業景観などを認定し、その保全と持続的な活用を図るものです。

これまでに、全世界で三十一地域が認定済みで、日本では二〇一一年に初めて佐渡と能登が、二〇一三年に静岡、阿蘇、国東（くにおさき）が認定され、これらの五地域が世界農業遺産として認定済みとなっています。岐阜県では、この世界農業遺産登録に関し、いち早く世界農業遺産への県内資源のリストアップとエントリーの可能性についての内部調査を進め、世界農業遺産申請案件の助言を行っている国連大学との調整を重ねる中で、平成二十六年二月には、長良川の鮎を中心とした「清流長良川流域の農林水産業」という形で申請できる可能性がでてきました。

関市議会報告

「清流長良川の鮎」

世界農業遺産認定について

関市議会議員 武藤隆夫

世界農業遺産認定に向けて「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されることになれば、関市という名前を全国に発信する絶好の機会であるとともに、農林水産業、農林水産加工品、観光まで幅広く「長良川のブランド」として打ち出していくことが可能となり、関市のより一層の発展に繋がるものと期待しています。

ことになっています。

「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されることになれば、関市という名前を全国に発信する絶好の機会であるとともに、農林水産業、農林水産加工品、観光まで幅広く「長良川のブランド」として打ち出していくことが可能となり、関市のより一層の発展に繋がるものと期待しています。



た。そこで、県が中心となり、長良川上中流域の関市、美濃市、郡上市、岐阜市の四市と関係団体で「清流長良川の農林水産業推進協議会」を設立し、この協議会の活動に賛同された「清流長良川の農林



水産業ブレイヤーズとともに、長良川の農業水産業、歴史文化、環境保全活動等を「清流長良川の鮎、里川における人と鮎のつながり」として一体的に取りまとめ、世界農業遺産への認定申請活動を開始したところです。

平成二十七年五月二十五日、二十六日には、イタリア、アメリカ、日本の三名のFAO現地調査委員による現地視察が実施され、今後、世界農業遺産国際会議における認定式で最終的な判断がされる

